

第80回 東京都卸売市場審議会

東京都中央卸売市場経営計画
の実施について

令和4年8月30日
東京都中央卸売市場

目次

1 東京都中央卸売市場経営計画の実施方針

- 東京都中央卸売市場経営計画の実施に向けて
- 東京都中央卸売市場経営計画の実施方針（令和4・5年度）

2 経営計画の主要な取組の進捗等

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| (1) 公平かつ公正な取引環境の確保 | (6) 輸出力強化に向けた取組 |
| (2) 品質・衛生管理の徹底・強化 | (7) 物流の効率化・高度化 |
| (3) 市場業者の経営基盤の強化 | (8) 強固で弾力的な財務基盤の確保 |
| (4) 市場のゼロエミッション化 | (9) 市場施設の計画的な維持更新 |
| (5) DXの推進等による市場業務の効率化 | 【参考】計画期間における主な整備等 |

1 東京都中央卸売市場経営計画の 実施方針

東京都中央卸売市場経営計画の実施に向けて

「東京都中央卸売市場経営指針」で掲げた目指す市場の姿

【2040年代の中央卸売市場の姿】

- ・中核機能の強化による市場の強靱化
- ・最先端技術等による高付加価値なサービスの提供
- ・多様な社会的役割の発揮

【持続可能な市場経営の実現】

- ・徹底した内部努力等により、強固で弾力的な財務基盤を確立し、これに裏打ちされた将来にわたり持続可能な市場経営を実現する。

経営計画の体系

市場経営の基本的な考え方 (都の3つの立場)

<開設者>

- ・中央卸売市場全体の機能の最適化
- ・各市場の機能強化

<施設管理者>

- 市場施設の計画的な維持更新

<市場会計の管理者>

- 強固で弾力的な財務基盤の確保

市場の活性化に向けた取組

生鮮品等流通の基幹的インフラとしての機能の強靱化

市場取引の活性化に向けた取組の強化

市場事業のサステナブル化

財政見通し

長期収支

財政収支計画

課題に応じて
実施方針を
とりまとめ

経営計画の実施方針（令和4・5年度）

- ▶ 経営指針で掲げた「2040年代の中央卸売市場の姿」と「持続可能な市場経営」の実現に向け、経営計画の各取組を以下の方針により実施

① 円滑な市場運営の確保のため、
日々の課題に的確に
取り組む

③ 持続可能な市場経営実現のため、
中長期的な課題に
着実に取り組む

② 市場の機能強化のため、
市場を取り巻く課題
に迅速に取り組む

東京都中央卸売市場経営計画の実施方針（令和4・5年度）

現状及び今後の方向性

コロナ禍やウクライナ情勢、円安の進行等による資材価格の高騰など市場を取り巻く現下の状況を踏まえ、5年間の計画期間（令和4～8年度）の前半となる令和4・5年度は、市場の課題を性質ごとに下記の3つに分類し、経営計画に掲げる取組を実施していく。

実施方針

① 円滑な市場運営の確保のため、**日々の課題に的確に取り組む**

円滑な市場運営を確保するため、公平・公正な取引環境の確保、品質・衛生管理の徹底・強化等に加え、環境負荷低減など市場のゼロエミッション化に向け、日々の課題に的確に取り組んでいく。

- 公平かつ公正な取引環境の確保
- 品質・衛生管理の徹底・強化
- 市場業者の経営基盤の強化
- 市場のゼロエミッション化
- DXの推進等による市場業務の効率化

② 市場の機能強化のため、**市場を取り巻く課題に迅速に取り組む**

各市場の機能を強化するとともに、市場全体として最適な機能を発揮させるため、国内需要の減少やトラックドライバーの人材不足等市場を取り巻く課題に迅速に取り組んでいく。

- DXの推進等による市場業務の効率化（再掲）
- 輸出力強化に向けた取組
- 物流の効率化・高度化
- 市場施設の計画的な維持更新

③ 持続可能な市場経営の実現のため、**中長期的な課題に着実に取り組む**

持続可能な市場経営の実現のため、市場会計の収支改善、施設の計画的な維持更新など、段階的に進めるべき中長期的な課題に対し、意見交換の積み重ね、基礎調査の実施など着実に取り組んでいく。

- 強固で弾力的な財務基盤の確保
- 市場施設の計画的な維持更新（再掲）

2 経営計画の主要な取組の進捗等

(1) 公平かつ公正な取引環境の確保

【概要】

- 条例改正等も踏まえ、市場取引の多様化が進む中、公正かつ公平な取引環境を確保していくためには、開設者においては、取引実態等を把握しながら、効果的な指導監督手法を検討していくことが必要

【現状及び課題】

- 条例改正だけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響も含めた社会経済状況等の変化に伴い、取引や流通の形態の多様化が加速
- 市場を取り巻く環境が変化するなかにあっても、公平かつ公正な取引環境を確保していくため、開設者においては、流通環境に即した適切な指導監督手法の確立と対応力の強化を図るための知識やノウハウを備えることが必要

【進捗状況】

- 令和4年度から、指導監督に必要な知識やノウハウの向上を図る研修を実施予定
- 条例改正後の取引状況の実態等を把握しながら、条例改正や取引実態を踏まえた指導監督方法等の確立に向けた検討に着手

【スケジュール】

令和4・5年度	令和6～8年度
<ul style="list-style-type: none">○ 適切な指導監督の実施○ 効果的な指導監督手法の検討・実施○ 調査・検査手法等の見直しの検討	<ul style="list-style-type: none">○ 適切な指導監督の実施○ 効果的な指導監督手法の実施○ 調査・検査手法等を適宜見直し

(2) 品質・衛生管理の徹底・強化

【概要】

- 食品衛生法の改正によりHACCPに沿った衛生管理が制度化され、消費者等において、これまで以上に食の安全・安心に対するニーズが高まる中、生鮮食料品等の流通を支える中央卸売市場においては、産地や実需者等のニーズを踏まえて品質・衛生管理の徹底・高度化を推進することが重要

【現状及び課題】

- HACCPに沿った衛生管理の制度化を踏まえて作成した品質・衛生管理マニュアルに基づき、各事業者に必要な対応を定着させていくことが重要
- 食の安全・安心に対する高い信頼を確保するためには、HACCPに沿った衛生管理を徹底するとともに、産地や実需者、消費者が求める高い水準を満たすような品質・衛生管理の高度化にも対応することが必要

【進捗状況】

- 講習会等によりHACCPに沿った衛生管理に係る記録の定着を図るとともに、適切な品質・衛生管理の取組を支援するワークショップ事業を令和4年度から実施予定
- 品質・衛生管理の徹底・高度化の推進に向けた施設整備の実施を検討

【スケジュール】

令和4・5年度

- HACCPに沿った衛生管理に係る記録の定着や検証等の支援
- 必要な施設整備の検討

令和6～8年度

- HACCPに沿った衛生管理の定着や品質・衛生管理の高度化を図る取組等を継続して支援
- 必要な施設整備の検討・実施

(3) 市場業者の経営基盤の強化

【概要】

- 市場業者が社会経済環境の変化に応じて、柔軟に対応できるよう、経営の専門家と連携した情報発信や経営相談事業等を実施
- 経営強靱化推進事業等により、市場業者の経営基盤の強化に向けた取組など、行動変革を後押し

【現状及び課題】

- 人口減少等による食料消費の減少や流通チャネルの多元化、新型コロナウイルス感染症の影響等により、市場業者の経営を取り巻く環境が大きく変化
- 市場業者が抱える様々な経営課題に対して、ともに向き合っていくとともに、市場業者の稼ぐ力を強化するため、販路開拓など経営基盤の強化に向けた意欲的な取組を支援することが必要

【進捗状況】

- 専門家と連携した情報発信
 - ・「事業承継」セミナー（5月）
 - ・「気候変動への対応」セミナー（7月）
- 経営相談事業等の実施
 - ・経営改善に関する相談（花き卸）外1件
 - ・専門家による定期訪問相談 21回40者
- 経営強靱化推進事業による取組支援
 - ・エネルギー問題等を踏まえて事業を拡充（省エネ対策への補助、売上減少事業者への補助率引き上げ）
 - ・第三者認証（MEL等）取得外14件を交付決定

【スケジュール】

令和4・5年度

- 経営の専門家と連携した情報発信、相談事業などの支援の実施
- 経営強靱化のための補助事業の実施

令和6～8年度

- 経営の専門家と連携した情報発信、相談事業などの支援の実施
- 経営強靱化のための補助事業の見直し、再構築など

(4) 市場のゼロエミッション化

【概要】

- 廃棄物や温室効果ガスの削減を通じて市場事業のサステナブル化を図るとともに、省エネルギー化の推進によりエネルギー危機に対応

【現状及び課題】

- 現下の電力不足等の状況も踏まえ、より強力な省エネの取組が急務
- 市場では、フロンを冷媒とする冷凍設備や、一部ガソリンで稼働する小型特殊自動車が使用されているため、地球温暖化防止等に向けた温室効果ガスの一層の削減が必要
- 市場からは、多くの梱包材や容器類等が排出されているため、排出量削減やリサイクルの推進が必要

【進捗状況】

- 各市場における更なる省エネを推進するため、省エネルギー対策に係る現地調査を実施
- 各市場の卸売場等における照明器具のLED化に向けた取組を、引き続き計画的に推進
- フロンを使用しない「省エネ型グリーン冷媒機器」の普及促進に係る補助事業を実施
- 小型特殊自動車の電動化を推進し、一層のZEV化を図るため、充電設備の増設に向けた取組を実施
- 市場から排出される発泡スチロールについて、国内リサイクルの現状や課題に関する調査を実施

【スケジュール】

令和4・5年度

- 省エネルギー診断業務の実施
- 環境負荷低減に資する設備の導入
- 小型特殊自動車のZEV化の推進
- ノンフロン冷媒機器に対する補助事業
- 発泡スチロールの国内リサイクルに関する調査委託を実施

令和6～8年度

- 環境負荷低減に資する設備の導入
- 小型特殊自動車のZEV化の推進
- 再生可能エネルギーによる電力調達の推進

(5) DXの推進等による市場業務の効率化

【概要】

- デジタル技術の積極的な活用により、市場業務のサービス向上を図るとともに、効率的かつ効果的な市場の管理運営体制を実現

【現状及び課題】

- 行政手続のデジタル化やオープンデータの提供など、市場業者や都民のサービス向上に向けた取組を着実に推進中
- 市場管理業務の効率化に向け、各市場東京都事務室におけるデジタル対応の強化が必要
- 市場業者におけるDXの推進に向け、先進事例等の情報を共有するとともに、市場業者と連携した取組が必要

【進捗状況】

(市場業務のサービス向上)

- 市場業者の利便性向上を図るため、各種申請や報告書提出などの行政手続を順次デジタル化
- 市場業者を対象とする経営セミナーをオンラインで実施、さらにアーカイブ配信
 - ・「事業承継」セミナー（5月）、「気候変動への対応」（7月）
- 都民や取引関係者に向けて、わかりやすい市況情報や、利用しやすいオープンデータを提供
 - ・「見やすい野菜の週間市況」のHP掲載
 - ・「日報」データを都オープンデータカタログに掲載

(各市場業務のデジタル対応強化、市場業者のDX推進)

- デジタル技術を活用して、本庁と各市場との効率的な情報共有を推進し、迅速な課題解決を図る
- 市場業者との先進事例等共有や意見交換の実施検討

【スケジュール】

令和4・5年度

- 市場管理業務の効率化・高度化に向けた技術導入調査
- 業界との意見交換・情報提供

令和6～8年度

- 事業構築

(6) 輸出力強化に向けた取組

【概要】

- 国内需要の減少が見込まれる中で活発な市場取引を維持するため、市場業者による自発的な海外の新規顧客開拓の取組を促進

【現状及び課題】

- 輸出拡大に向けたプロモーション等、市場業者等が連携して取り組む活動計画の策定を支援するほか、経営強靱化推進事業による取組支援を実施
- 海外情勢や新型コロナウイルス感染症による渡航制限等の活動上の制約に加え、国際貨物輸送価格の変動への対応等、市場業者による戦略的かつ柔軟な取組が必要

【進捗状況】

- 市場業者等の連携による輸出販路開拓・拡大の取組について、グループ活動により現下の情勢を踏まえた活動計画の具体化を支援
- また、上記取組を行っている市場業者等は、現地法人とオンライン等での商談を進めており、今後、海外のビジネスパートナーとの連携による活動等を順次展開予定
- 引き続き、経営強靱化推進事業による輸出取組支援を継続

【スケジュール】

令和4・5年度

- 支援事業の実施
- 市場業者の取組の促進

令和6～8年度

- 市場業者の取組の促進

(7) 物流の効率化・高度化

【概要】

- 生鮮品等流通を支えるトラックドライバーの人材不足等に対応するため、中央卸売市場におけるトラックドライバーの待機時間の削減やパレット化推進を通じた場内荷役業務の省力化などを推進

【現状及び課題】

- トラックドライバーの人材不足や、物流の2024年問題を契機とする物流コスト上昇が懸念される中で、卸売市場では、場内混雑や荷待ちの長時間待機が存在
- パレット化されていない積荷等の手荷役業務がトラックドライバーの業務の負担となっており、拘束時間の長時間化が課題

【進捗状況】

- トラック予約受付システムの導入の推進に向けた事例収集等の検討を実施。今後、導入に向けた課題等を分析し、導入する市場やシステムを選定
- 国の青果物流通標準化に向けた検討や取組と連携し、場内でのパレット管理方法の確立や場内物流の効率化に向け、青果物市場において、都と業界による場内物流改善推進体制の構築に向けた調整を実施

【スケジュール】

令和4・5年度

- トラック予約受付システムの導入促進
- 場内物流の分析調査

令和6～8年度

- 先端技術導入の検討、一部市場での先行実施

(8) 強固で弾力的な財務基盤の確保

【概要】

- 経常収支の黒字化に向けて、経営改善に取り組むとともに、将来を見据えて市場使用料のあり方を検討

【現状及び課題】

- 市場会計の経常収支は大幅な赤字
- このまま推移すれば、今後の資金収支は令和46（2064）年度にショートする見込み
- 持続可能な市場経営のためには経常収支の黒字化が不可欠
- 経営改善に取り組むことに加え、将来を見据えて市場使用料のあり方を検討することなどが必要

【進捗状況】

（経営改善の取組）

- 当面の経営改善の取組を実施。また、経営状況のより精緻な分析等を踏まえた更なる経営改善策を検討
- 市場会計の財政状況について、業界との意見交換の場の設置やホームページ等における情報発信に向け、内容を検討
- 「経営レポート（仮称）」の作成に向け、内容を検討

（市場使用料の検討）

- 市場使用料の体系や料額について、業界との意見交換を今後実施

【スケジュール】

主な取組	令和4・5年度	令和6～8年度
経営改善	<ul style="list-style-type: none">○ 経営改善策の検討・実施○ 市場会計の財政状況の見える化○ 「経営レポート（仮称）」作成（令和5年度）	<ul style="list-style-type: none">○ 経営改善策の検討・実施○ 市場会計の財政状況の見える化○ 「経営レポート（仮称）」作成（令和7年度）
市場使用料	<ul style="list-style-type: none">○ 業界等との意見交換○ 検討会の実施	<ul style="list-style-type: none">○ 業界等との意見交換○ 検討会の実施・まとめ

(9) 市場施設の計画的な維持更新

【概要】

- 主要建物について劣化度調査や利用状況調査を実施し、個別の建物における更新手法（大規模改修、長寿命化改修、改築、解体等）の方針を検討
- 上記の検討結果を基に、市場ごとに工事を集中的に実施していくためのマスタープラン（全体計画）を策定

【現状及び課題】

- 市場施設の多くは、高度経済成長期に集中的に整備されており、建設から40年以上が経過するなど、施設や設備の老朽化が進行
- 財政上の厳しい制約や、市場営業を継続しながらの工事、合意形成の難しさから、施設や設備の老朽化の状況や更新時期に応じた計画的な維持更新が困難

【進捗状況】

- 令和4年度は、以下の5市場における主要建物について、構造体である鉄筋コンクリートや各設備等の劣化度調査を実施
 - ・ 実施済 … 足立市場
 - ・ 今後実施… 淀橋市場、大田市場、多摩ニュータウン市場、葛西市場
- 各市場の利用状況調査の実施に向けた検討

【スケジュール】

令和4・5年度	令和6～8年度
<ul style="list-style-type: none">○ 劣化度調査実施	<ul style="list-style-type: none">○ 個別の建物の維持更新計画策定○ マスタープラン策定

【参考】計画期間における主な整備等

【概要】

- 計画期間において実施する市場施設の維持更新、機能強化に向けた主な取組として、淀橋市場及び板橋市場の状況を報告

【現状及び課題】

（淀橋市場拡張整備事業）

- これまでの業界との検討等に基づき、整備を具体化する基本計画を策定
- 先端技術等導入等に向けた業界の取組支援や、整備の諸課題の解決、整備後の場内物流改善等に向けた取組推進が課題

（板橋市場の機能強化に向けた調査・検討）

- 板橋市場あり方検討委員会を立ち上げ、豊島市場との機能集約を視野に入れつつ、業界を中心にビジネスモデル等の検討に着手

【進捗状況】

（淀橋市場拡張整備事業）

- 業界と意見交換を行いながら、基本設計を実施
- 整備後を見据え、場内物流改善に向けた場内物流調査を実施

（板橋市場の機能強化に向けた調査・検討）

- 板橋市場あり方検討委員会を1回、青果部会を4回開催し、将来を見据えたビジネスモデルを検討中
- 専門的な知見を活用し、ビジネスモデルの検討に資する施設の利用状況や青果物の流通状況等の調査を実施

【スケジュール】

主な取組	令和4・5年度	令和6～8年度
淀橋市場	○ 基本設計、実施設計	○ 工事
板橋市場	○ ビジネスモデル等のとりまとめ ○ 基本構想策定	○ 基本計画策定 ○ 基本設計